

外来種

交雑体(雑種)



県内産のコイは雑種化が進み、様々な特徴のものが視られる。北潟湖産 全長:約75cm

コイ科 コイ属

【全長】100cmを超える

コイ

学名: *Cyprinus carpio*

分布域

日本全国に分布するが、自然分布域は不明とされる。

生息域

河川の中流～下流域・湖沼・水路などに広く生息する。



幼魚は丈夫で飼育し易く、成長も早い。

最大全長は1mを超え、上顎に2対(4本)の口髭を持つ。背鰭の基底は長く、棘条が2本・軟条が19～21本で、近縁のフナ類より多く識別は容易。寿命は長く、20年以上生きる。生息環境は河川の中流～下流域や湖沼、池など、広い環境に生息する。産卵期は春(5月頃)。水草などに粘着卵を産み付ける。食性は雑食性で貝類(タニシ・カワニナ・シジミなど)や小魚・甲殻類・底生動物・藻類などを幅広く食べる。

水槽での飼育は可能。成長が早く丈夫で飼育し易い。餌は配合飼料に慣れる。成魚は慣れるまでに時間が必要。他種との混泳にも問題ないが、口に入る魚は食べてしまう。水槽から飛び出ないように注意が必要。

外来種?

雑種?

純淡水魚

※ 福井県内に生息するコイも雑種化が進み、体色や体形、髭の長さなど外観的な特徴も様々なものが視られる。一昔前は、コイが自然保護の代名詞のように放流され、今となっては外来種となってしまった。